

鐘楼

伊勢崎市立北小学校学校運営協議会だより 第20号
(本年度2号)
令和6年2月 伊勢崎市立北小学校学校運営協議会
北小学校ホームページアドレス: <http://www.isesaki-school.ed.jp/kitasyo/>

厳寒の候、皆様におかれましては、ご健勝のことと拝察申し上げます。北小学校運営協議会の情報を発信する「鐘楼」の今号は、学校運営協議員から、それぞれの立場で子どもたちや地域・家庭に伝えたいメッセージを掲載しました。ご高覧ください。



☆ メッセージ ☆

「次の150年に向けて」 山田 千広 (PTA 会長)

今年、北小学校は開校150周年を迎えました。150年、地球・宇宙という規模からみれば一瞬の時間かもしれません。しかし、私たちにとっては気の遠くなるような長い時間です。この数十年でも価値観は多様化し、情報技術はすさまじい発展をとげました。小学校では、子どもたちが一台ずつタブレットを持つ時代になりました。

これから、子どもたちが生きていく社会は、ITからAIにシフトし、ますます多様化・複雑化した社会となるはずですが、この数年のコロナ禍のようにますます社会は、予測不可能になっていくはずです。

そのような状況の中で、子どもたちが生きていくために何が必要かを考え、学校運営委員として、PTAとして新たな価値観を創造していくことが必要だと思っています。

「心身の健康について」 狩野 英里子 (PTA 副会長)

コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、まだまだ他校や保育園・幼稚園では学級閉鎖やインフルエンザの流行などが聞こえてくる毎日です。しかし、少しずつマスクをとる機会も増え、イベントなども復活してきています。

そんな中、気にしておきたいのは、健康のこと。身体の健康は勿論のこと、心の健康も大切です。自分自身と向き合うこと、自分を理解してくれる人に向き合ってもらうこと両方があって初めて心が健やかになると自分は思います。

それぞれ家事・宿題・習い事など忙しいことも多いですが、少しでも子供たちとお互いに本音で向き合う時間を作れると良いですね。興味があること、学校のこと、将来のこと…いじめの早期発見にも繋がる筈です。

心が健やかであって初めて、日常やイベントも楽しく過ごせるし、将来の目標も見えてくると思っています。

「こどもまんなか社会」に向けて 小山 美子 (伊勢崎市立第一幼稚園長)

「こどもまんなか社会」という言葉がニュース等でよく聞かれるようになりました。すべての子供が幸せな生活を送れる社会の実現を目指し、子供の最善の利益を第一に考え、子供に関する取組を社会の真ん中にとらえることだそうです。そうすると今まで以上に、園や学校、家庭、地域との協働が求められると思いました。ある時、数名の園児が園庭のフェンス越しにお年寄りと親しく会話をする姿が目にとまりました。子供たちはその方を「〇〇さん」と、お年寄りも園児を「〇〇ちゃん」と互いに名前前で呼び合っていました。いつのまにこんなに地域の方と仲良しになったのだろうと驚いたのですが、温もりのあるお年寄りの対応に園児たちの気持ちも和む様子でした。こんな地域の方との自然な関わりこそ大事にしていくことが「こどもまんなか社会」への小さな一歩になると信じています。

今年度も学校運営協議会でお世話になります。微力ではありますが、子供たちの健やかな成長のため努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

「地域と学校の繋がり」

佐藤 昌弘（北公民館長）

北公民館では水墨画、絵画、書道など多くのサークル団体が毎週、楽しみながら活動しています。本年も1年間の成果の発表として作品展を10月に開催できました。その中で、小学生、中学生の書道や絵画作品を提供していただき、多くの来場者に鑑賞してもらえました。今後も幅広い世代を通じた作品展を通じて地域と学校が繋がれば良いと感じます。

また、今後も夏休みや冬休み期間に小学生絵画教室や書道教室の開催を予定していますので興味のある方は、ぜひご参加ください。

「おぜのかみさま」

丸山 晃司（北地区青少年育成推進員）

私は北地区で、青少年育成推進員をしています。私たち推進員は、青少年が健やかに育つ環境を作るために、地域・関係団体・学校などと連携し、「すべての青少年が健康でたくましく、心豊かに成長してほしい」という考えのもとに活動しています。その活動のなかのひとつに、子どもたちが安心・安全にインターネットを利用するための「おぜのかみさま」運動の推進があります。

すでにみなさんもよくご存じだと思いますが、「おぜのかみさま」とは子どもをネット犯罪から守るための7つの約束であり、正しく・楽しく利用するためのものです。子どもたちや保護者の方々に、インターネットに潜む危険性を再確認して頂き、利用状況に応じたフィルタリング等、安全対策の設定をして頂きますようお願いいたします。

「今できること」

山田 亜基子（北小ボランティアリーダー）

今年度第一回の児童アンケートでは、「授業でもっとやってみたいことや分からないことを家で復習する」「学校や家で読書」の二項目が低い数値となりました。

やってみたいことに挑戦すると、得意なことがもっとできるようになります。分からないことを復習すると、苦手なこともできるようになります。そして読書をすれば、漢字や文章に強くなるのはもちろんのこと、新しい情報や価値観を学ぶことができます。他にも読書をすると良いことが、数えきれないほどたくさんあります。

北小のみんなで復習と読書を楽しみ、将来の夢や希望、就きたい職業などに向かって努力していきましょう。先生方や保護者、地域の方々は、北小に通っているみんなを応援しています。

☆ 活動の概要 ☆

第4回学校運営協議会では、健全育成班と健康・安全班のそれぞれの協議で検討した講師を招き、6年生を対象として実施した未来力学習講座の報告をしました。また、「第2回学校評価アンケート」の結果・分析について学校側から報告を受け、その内容について学校側と情報交換をしました。

「すまいるカレンダー」は、今年度は卓上カレンダーになります。楽しみにしていってください。



未来力
学習
講座
の様子



健全育成班では、講師として元プロサッカー選手の氏家英行様に来ていただき、幼少期からプロサッカー選手になるまでの心技体の成長の過程について話を聴きました。

健康・安全班では、講師としてぐんま子どもセーフネット活動委員会の塩澤恵美様に来ていただき、ゲーム、SNS、動画視聴における危険と、家庭にすすめたい約束事の説明などを聴きました。